

請 願 第 1 号	平成28年2月23日受理
付 託 委 員 会	福祉常任委員会
件 名	平成28年度学童待機児童増加に伴い子育て支援への予算見直し要望に関する件
紹 介 議 員	横 山 博 美 議員 緑 川 利 行 議員 林 利 彦 議員 山 口 勇 議員 橋 本 淳 議員 伊 原 忠 議員
請 願 要 旨	<p>日ごろ地域の子育て学童保育の充実に向け御尽力されていることに敬意を表します。八千代市内には現在22カ所の学童保育所があり平成27年度からは児童福祉法が改正され学童保育所入所の対象児童が小学校に就学している1年生～6年生までの児童に拡大されました。しかし学童保育所はどこも定員がいっぱいで4年生から6年生はもちろんのこと1年生でも入れずにいるというのが現状です。平成28年度における八千代市の待機児童は現在170人を超えたと聞きました。うち1年生～3年生が100人超えという状況であります。本来であれば異年齢の子供たちが思い切り遊び、集団としてさまざまな体験ができる場所であるにもかかわらず、今年度入所できる児童は1年生が大半を占めているので2、3年生が入所できない状況は学童保育での学び、遊びにおいてもできないことが出てくるほか、先生方の負担になる部分も出てくると思われます。八千代市では学童保育指導員の離職率が非常に高いと言われています。先生方の負担増に加え待遇面の悪さが影響していると考えられます。先生方の負担を軽減するには上学年の子供たちが必要ではないでしょうか。保育園や幼稚園で過ごせていたのに卒園した後に学童に入れないとすると親たちは安心して外で働くことができません。</p> <p>実際に来年度入所できない子供自身が精神的ストレスを抱えてしまっている状況でもあります。</p> <p>八千代市における学童保育所の不足の要因は場所の確保や指導員の不足などあると思われますが待機児童が2番目に多い大和田第三学童に関しては分室の隣に部屋も確保してあり指導員、補助員の確保ができれば年間450万円の予算で開くことができる状況であります。この先働くお母さんはふえていくと思いますので学童保育の充実、待機児童ゼロを目指し予算の見直しをお願いいたします。</p> <p>大和田第三学童だけでなく、待機児童の多い所に学童保育所の増設をする予算確保をお願いします。</p>